

## 1 概要

### (1) 計画策定の目的・計画期間

#### 【目的】

人口減少や少子高齢化の進展などの社会環境の変化に対応し、市民総ぐるみで効率的かつ秩序ある雪処理を行うことで、持続可能な雪処理体制及び住みよい雪国都市の構築を図ることを目的として策定を行うもの。

#### <主な策定内容>

- ▷ 現状調査・分析・評価に基づき、社会経済情勢の変化や関連計画との整合などを踏まえた計画内容の策定
- ▷ 持続可能な除排雪体制の整備に向けた ICT 等の先進的技術の活用に向けた調査研究や重機オペレーターの育成支援等を記載
- ▷ 民地の除排雪作業中の死傷事故の防止に向けた将来構想や取組を定める「地域安全克雪方針」に係る検討
- ▷ 円滑な除排雪作業実施に向けた関係機関等との連携による道路交通の確保を記載

#### 【計画期間】

令和 6 年度から令和 10 年度（5 か年）

### (2) 本市総合計画 前期基本計画における位置づけ

基本政策 3 まちをデザインする 政策 2 災害防止・雪対策の充実 施策 2 効果的・効率的な雪対策の推進

## 2 現状の課題等

### 本市の雪対策における課題等（現状分析結果概要）

#### 【車道除排雪】

- ▷ 本市総人口に占める生産年齢人口割合は減少傾向で推移し、令和 32 年には 45.0%にまで減少する見込み。
- ▷ 本市が実施する除排雪作業に従事する重機オペレーターの高齢化が進展。
- ▷ 本市除排雪経費は増加傾向で推移。

#### 【歩道除排雪】

- ▷ 積雪による歩道幅員の減少や路面の凍結による転倒事故の発生など、雪国特有の障害（バリア）の存在。
- ▷ 冬期歩行者空間確保除雪機貸与団体において、従事者の高齢化が進行。

#### 【民地内除排雪】

- ▷ 本市の高齢化率は増加傾向で推移し、令和 32 年には、本市人口の概ね 2 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になる見込み。
- ▷ 本市の要介護等認定者数は、高齢化の進行に伴い、今後も増加傾向が続く見込み。
- ▷ 屋根の雪下ろし及び民地内除雪の状況について、大半が自分 1 人で実施。
- ▷ 除排雪作業中の事故による死傷者のうち、半数以上が屋根やはしご等からの転落事故、次いで 3 割程度が屋根雪等の落下による事故となっており、除排雪作業中の安全対策及び屋根雪処理に関する対策が急務。
- ▷ 命綱やフルハーネス安全帯などの安全対策を行わずに雪下ろしを行う方が 82.5%となっている。

#### 【防災】

- ▷ 過去 30 年間に於いて、1 シーズンの降雪量については大きな変化がないもの、比較的短期間に集中して大量の降雪が生じる傾向に変化。
- ▷ 災害発生時においては徒歩による避難が原則とされているものの、積雪や降雪の影響により、徒歩移動に相当の時間を要する、または困難になることが想定される。
- ▷ 積雪による道路交通障害により、救助活動や災害復旧活動、災害支援物資の輸送等に大きな支障をきたすことが想定される。

#### 【利雪・親雪】

- ▷ 本市に降る雪は、潤沢な水資源をもたらすほか、雪国ならではの気候風土が本市特有の文化を育む土台になっているなど、地域資源としてのプラス面を有する。
- ▷ 本市における冬期観光入込客数は、令和 2 年以降の新型コロナウイルスに係る影響を大きくは受けておらず、更なる成長の余地があると評価できる。

## 3 基本理念と基本方向

### 基本理念

共に助け合い 支え合う

雪と調和した快適都市の創造

地域・除排雪事業者・行政の各主体が連携し、効果的・効率的な除排雪作業を実施するとともに、市民が共に助け合い支え合う持続可能な雪対策を促進し、快適な雪国都市の創造を目指す。



### 基本方向（戦略目標及び主な取組）

#### 【(1) 冬期積雪期における安全・安心な道路交通環境の確保】

- (1)-1 除雪水準の確保
- (1)-2 持続可能な除排雪体制の構築と除排雪業務の効率化
- (1)-3 地域・除排雪事業者・市の連携による除排雪作業の実施

#### 【(2) 冬期積雪期においても住みよい都市づくりの推進】

- (2)-1 快適な雪国空間の形成
- (2)-2 流・融雪溝の整備
- (2)-3 冬期歩行者空間の確保
- (2)-4 雪に強い街区の形成
- (2)-5 市民の雪寄せ場・雪捨て場の確保
- (2)-6 雪処理施設による陸奥湾の水質保全

#### 【(3) 安全で負担の少ない持続可能な雪処理の推進】

- (3)-1 「青森市市民とともに進める雪処理に関する条例」の周知
- (3)-2 市民・地域との協働による除排雪活動
- (3)-3 雪処理作業における安全確保

#### 【(4) 冬期積雪期においても災害に強い都市機能の確保】

- (4)-1 豪雪時における対応（豪雪対策本部）
- (4)-2 豪雪災害時における対応（豪雪災害対策本部）
- (4)-3 災害に備えた道路交通の確保
- (4)-4 克雪住宅の普及促進

#### 【(5) 地域資源である「雪」に親しむ文化の醸成】

- (5)-1 雪の恵み
- (5)-2 冬を楽しむ文化の醸成
- (5)-3 利雪・親雪に関する取組の促進